

マレーシアで安全に過ごすために

国が違えば生活習慣も異なるように、そこで発生する犯罪の態様も異なります。「マレーシアは治安が良い」として漫然と過ごすことなく、最新の安全情報を自ら確認し、防犯対策を心がけることでトラブルを未然に防ぎ、安全に過ごすことができます。

1 スリ被害に注意



KLセントラル駅、ブキビンタン、ジャランアロー、セントラルマーケットやムルデカ広場において、スリ被害が確認されています。

観光中やエスカレーター利用時などは貴重品を入れたリュックなどのカバンは、必ず身体の正面に抱えるようにし、盗難や紛失防止に努めてください。

3 他人の荷物を預からない

SNSやインターネット上の「高額報酬」という誘い文句に乗り、荷物の運搬を頼まれ、知らないうちに大麻など違法薬物の「運び屋」にされ、空港で警察・税関に逮捕される事案が確認されています。

「知らなかった」という言い訳は通用しません。十分に注意してください。



2 お金見せて詐欺



クアラルンプール市内において、中東系の男女や白人男性から、「日本円を見せて欲しい」などと声をかけられ、言葉巧みに、財布内から現金を抜き取ろうとする手口が確認されています。

このような声掛けには、相手にすることなく、その場を速やかに立ち去るように心がけてください。

4 電話詐欺には要注意

2025年中のオンライン詐欺(電話詐欺など)の被害件数は、前年比+87%増、セランゴール州とクアラルンプールは、3年連続で国内最大の詐欺多発地域となっています。

少しでも違和感を覚える場合、疑わしいと思える場合には、家族等の近い人や警察署などに相談してください。



5 マレーシアの交通事情

マレーシアでは、バイクの無謀運転が多く、都市部では渋滞回避のためにバイクがすり抜け運転をする、赤信号を無視する、逆走するといった事例が多発しており、バイクには注意が必要です。また、横断歩道も少ないという交通環境になっています。

ご自身、ご家族が交通事故の被害者にならないよう注意してください。



安全に関する注意喚起

- 犯罪被害に遭われた際は、事案の概要を当館のEメールアドレス(ryo@kl.mofa.go.jp)又は、当館代表電話にご一報ください。
- 邦人の皆様が、同様の被害に遭わないよう、ご連絡いただいた方の個人が特定されないよう十分に配慮をした上で、ご報告いただいた内容に応じて、注意喚起を行います。

その他関連情報は裏面をご覧ください